

在庫スイートクラウド Lite

別紙：ファイルフォーマット

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
		改定時対応アプリケーション・マニュアル
第 1.0 版	2015 年 02 月 10 日	初版
		本アプリケーションバージョン Ver.1.40 本体マニュアル 1.5 版
第 1.1 版	2015 年 04 月 06 日	・「1 - 7 集計データフォーマット」を追加 ・「1 - 8 分析データフォーマット」を追加
		本アプリケーションバージョン Ver.1.50 本体マニュアル 1.6 版
第 1.2 版	2015 年 05 月 18 日	・「1 - 9 台帳データフォーマット」に「[3]セット品台帳」追加
		本アプリケーションバージョン Ver.1.60 本体マニュアル 1.7 版
第 1.3 版	2015 年 10 月 28 日	・「1 - 9 台帳データフォーマット [6]ゾーン台帳」に、予備項目を追加
		本アプリケーションバージョン Ver.1.70 本体マニュアル 1.8 版
第 1.4 版	2015 年 12 月 21 日	・各伝票の備考項目の桁数を 500 桁へ変更
		本アプリケーションバージョン Ver.1.80 本体マニュアル 1.9 版
第 1.5 版	2016 年 03 月 16 日	・シングルクォーテーション対応項目を追加(1-1(3)) ・記載誤り・不足を訂正(1-2[3]、1-4[2]、1-6、1-9[4])
		本アプリケーションバージョン Ver.1.92 本体マニュアル 2.1 版
第 1.6 版	2016 年 10 月 06 日	・伝票インポート時の区切り行に対応(1-1(5)) ・記載誤りや不足を訂正(1-1(4)、1-2)
		本アプリケーションバージョン Ver.2.10 本体マニュアル 2.3 版

第 1.7 版	2017 年 06 月 07 日	・インポート時に無視される行について追記(1(8)) ・コード項目の末尾のスペースについて追記(1(9)) ・見出し番号の形式を変更
		本アプリケーションバージョン Ver.2.40 本体マニュアル 2.5 版
第 1.8 版	2017 年 09 月 20 日	・品目台帳の略称の桁数を変更(9(1))
		本アプリケーションバージョン Ver.2.42 本体マニュアル 2.6 版
第 1.9 版	2017 年 11 月 15 日	・品目台帳インポート時の推奨ロケーションと発注点の動作について追記(9(1)) ・棚卸の明細桁数の誤りを修正(4(2))
		本アプリケーションバージョン Ver.2.43 本体マニュアル 2.7 版
第 2.0 版	2018 年 02 月 21 日	・インポート項目省略時の動作について追記(1(5)) ・インポートエラー時の動作について追記(1(6)) ・インポートで元伝票番号にセットされる内容について追記(2)
		本アプリケーションバージョン Ver.2.60 本体マニュアル 2.9 版
第 2.1 版	2019 年 03 月 13 日	・インポート項目省略時の動作について修正(1(5)) ・品目台帳の推奨ロケと発注点の説明文を修正(9[1]) ・品目台帳に JAN(bowl)関連項目を追加(9[1]) ・品目台帳に ITF 関連項目を追加(9[1]) ・ユーザー台帳のパスワードは「*」を出力(9[11]) ・ユーザー台帳の権限に仕入先ユーザーを追加(9[11]) ・ユーザー台帳に仕入先コードと「同一仕入先ユーザーのメンテナンス可」を追加(9[11])
		本アプリケーションバージョン Ver.2.70 本体マニュアル 3.1 版
第 2.2 版	2019 年 06 月 26 日	・ユーザー台帳の倉庫コードで複数倉庫所属に対応(9[11])
		本アプリケーションバージョン Ver.2.80 本体マニュアル 3.2 版
第 2.3 版	2019 年 10 月 30 日	・倉庫間入荷のインポートは無効(2[1])
		本アプリケーションバージョン Ver.2.90 本体マニュアル 3.3 版
第 2.4 版	2020 年 04 月 15 日	・入荷の在庫状態指定対応(2[1]) ・倉庫間入荷関連の不備を訂正(2[1]) ・現品票のラベル入数の桁数拡張対応(3[1][2]) ・品目台帳のストレージ画像対応(9[1])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.00 本体マニュアル 3.5 版
第 2.5 版	2020 年 06 月 03 日	・共通項目に在庫状態についての説明を追記(1(10)) ・共通項目にダブルクォーテーションでの囲み方についての説明を追記(1(11)) ・品目台帳に JAN/UPC、ITF/GS1(GTIN-14)関連項目の名称を変更(9[1])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.03

		本体マニュアル	3.6 版
第 2.6 版	2020 年 09 月 16 日	・モバイル棚卸入力履歴エクスポートに対応(4[3]) ・棚卸外部データ比較エクスポートに対応(4[4]) ・在庫状態拡張対応(1[10])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.10
		本体マニュアル	3.7 版
第 2.7 版	2020 年 10 月 21 日	・CSV 形式の詳細説明の追加(1[1]) ・2 行目からのインポートに関する説明の追加(1[8])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.12
		本体マニュアル	3.8 版
第 2.8 版	2021 年 01 月 13 日	・ユーザー台帳に項目追加及び項目名変更(9[11]) ・各伝票の元伝票番号の桁数拡張対応	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.20
		本体マニュアル	3.9 版
第 2.9 版	2021 年 02 月 17 日	・品目台帳に項目追加(9[1])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.22
		本体マニュアル	4.0 版
第 3.0 版	2021 年 03 月 17 日	・品目台帳に説明追記(9[1])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.25
		本体マニュアル	4.1 版
第 3.1 版	2021 年 04 月 22 日	・品目台帳に項目追加(9[1])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.26
		本体マニュアル	4.2 版
第 3.2 版	2021 年 04 月 26 日	・品目台帳の説明を修正(9[1])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.27
		本体マニュアル	4.2 版
第 3.3 版	2021 年 06 月 14 日	・品目台帳のフォーマットを変更(9[1])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.33
		本体マニュアル	4.3 版
第 3.4 版	2021 年 09 月 28 日	・エクスポートのファイル種別に項目行ありを追加	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.40
		本体マニュアル	4.4 版
第 3.5 版	2021 年 12 月 15 日	・エクスポートのファイル種別に項目行ありを追加	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.42
		本体マニュアル	4.6 版
第 3.6 版	2022 年 08 月 03 日	・項目 ID フォーマットに関する説明を追加	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.54
		本体マニュアル	4.9 版
第 3.7 版	2022 年 09 月 21 日	・伝票区分「出荷」時の在庫状態についての説明を下記に追加 ・出荷実績伝票 在庫状態コードの備考(2[2])	
		本アプリケーションバージョン	Ver.3.55
		本体マニュアル	5.0 版
第 3.8 版	—	欠番	

第 3.9 版	2024 年 07 月 18 日	・インポート可能なフォーマットに説明を追加 ・在庫参照の更新日時について説明を追加(5[1]、5[2]) ・品目台帳の備考に説明を追記(9[1])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.70 本体マニュアル 5.6 版
第 4.0 版	2025 年 04 月 23 日	・ファイル形式の改行の説明を修正 (1[1]) ・伝票データフォーマットの不備を修正
		本アプリケーションバージョン Ver.3.80 本体マニュアル 6.0 版
第 4.1 版	2025 年 10 月 16 日	・ユーザー台帳に項目(2 要素認証)追加(9[11])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.84 本体マニュアル 6.4 版
第 4.2 版	2025 年 11 月 26 日	・現品票 枚数項目付加形式に記載の不備を修正(3[2]) ・ユーザー台帳に項目(メイン倉庫コード)追加(9[11])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.85 本体マニュアル 6.5 版
第 4.3 版	2026 年 02 月 04 日	・現品票 枚数項目付加形式に記載の不備を修正(3[2]) ・その他不備の修正、説明の補足
		本アプリケーションバージョン Ver.3.87 本体マニュアル 6.6 版
第 4.4 版	2026 年 07 月 09 日	・現品票の名称変更対応(3[1]、3[2]、9[1])
		本アプリケーションバージョン Ver.3.91 本体マニュアル 6.9 版

インポート・エクスポートデータフォーマット _____ 7

1. 共通項目	7
[1] ファイル形式	7
[2] レコード構成.....	7
[3] 各項目の使用可能文字について	8
[4] データフォーマット内の凡例について.....	8
[5] インポートデータ作成上の注意事項	9
[6] インポート時の上書きとエラーについて	9
[7] 台帳間の依存関係について.....	9
[8] インポート時に無視される行について	10
[9] コード項目の末尾のスペースについて	10
[10] 在庫状態について	10
[11] ダブルクォーテーション(")での囲み方について	11
[12] 項目 ID フォーマットについて	11
2. 伝票データフォーマット.....	12
[1] 入荷実績伝票	12
[2] 出荷実績伝票	14
[3] 振替伝票	17
3. 現品票データフォーマット.....	19
[1] 枚数繰返し形式	19
[2] 枚数項目付加形式.....	19
4. 棚卸データフォーマット.....	20
[1] 棚卸表(品目別)	20
[2] 棚卸表(詳細).....	20
[3] モバイル棚卸入力履歴	21
[4] 棚卸外部データ比較	22
5. 在庫参照データフォーマット	23
[1] 在庫参照(品目別).....	23
[2] 在庫参照(詳細)	23
6. 履歴参照データフォーマット	25
[1] 履歴参照	25
[2] 入出荷一覧.....	26
[3] 入出荷一覧（詳細）	27
7. 集計データフォーマット.....	28
[1] 在庫移動表.....	28

[2] 在庫高集計.....	28
8. 分析データフォーマット.....	29
[1] 出荷高(単価)別 ABC 分析	29
[2] 出荷高(標準原単価)別 ABC 分析	29
[3] 出荷頻度別 ABC 分析	30
[4] 在庫高別 ABC 分析.....	30
[5] 滞留在庫	31
[6] 在庫回転率.....	31
9. 台帳データフォーマット.....	33
[1] 品目台帳	33
[2] 分類台帳	35
[3] セット品台帳	35
[4] 倉庫台帳	36
[5] ゾーン台帳.....	36
[6] ロケーション台帳	36
[7] 出荷先台帳.....	36
[8] 直送先台帳.....	37
[9] 仕入先台帳.....	37
[10] 理由台帳.....	38
[11] ユーザー台帳.....	38

インポート・エクスポートデータフォーマット

各画面の［インポート］［エクスポート］で使用するデータのフォーマットについて解説します。
本書では固定フォーマットについて記載しています。

1. 共通項目

〔1〕ファイル形式

CSV 形式

可変長 カンマ区切り

文字コード：シフト JIS

改行コード：インポート時 CR+LF、CR、LF に対応

エクスポート時 CR+LF 固定

EOF コード：なし

〔2〕レコード構成

(ア) 各種伝票のインポート・エクスポートデータは「ヘッダ」項目と「明細」項目から構成されます。エクスポートする伝票が変われば、ヘッダ項目の内容が変更されます。インポート時は、「伝票番号」によって伝票の区切りが判断されます。

インポート・エクスポートデータとも基本的に同じ書式になりますが、一部エクスポート時のみ書き出されて、インポート時には無視される項目があります。詳細は次項のデータフォーマットに関する解説を参照して下さい。

ヘッダ 1	明細 1
ヘッダ 1	明細 2
ヘッダ 1	明細 3
ヘッダ 1	明細 4
ヘッダ 2	明細 1
ヘッダ 2	明細 2
ヘッダ 2	明細 3
ヘッダ 3	明細 1

(イ) 棚卸のインポート・エクスポートデータは「明細項目」のみで構成されます。

上述の各伝票の場合とは異なり、複数の「棚卸表」をまとめてエクスポートすることはできません。

(ウ) 各種台帳のインポート・エクスポートデータは 1 件 1 レコードになっています。

[3] 各項目の使用可能文字について

各項目の使用可能文字についての詳細は、本体マニュアルの「1-2 主要スペック」をご覧ください。

桁数に「全」のマークのある項目は全角も含めほぼ全ての文字が使用可能ですが、半角のシングルクォーテーション(')についてのみ一部の項目に限られますのでご注意ください（品目名、品目名カナ、品目略称、摘要、備考でのみ使用可能です）。

[4] データフォーマット内の凡例について

<項目名欄の凡例>

(予備) インポートデータ作成時は空文字にしてください。

※ エクスポート時にのみ書き出されます。インポート時は入力されていて
も無視されるか、適宜置き換えて読み込まれます。

☆ インポート時、入力内容は無視され、関連する台帳の内容が伝票に登録されます。
ただし台帳自動更新が有効かつ入力内容が空でない場合は台帳側が更新されます。

★ 各伝票の取引先（仕入先・出荷先・直送先）の関連項目です。
インポート時において、コードの有無によって以下のように伝票に登録されます。

例：出荷先の場合

ア. 出荷先コードありの場合（☆と同様）

入力内容は無視され、出荷先台帳の内容が伝票に登録されます。

ただし台帳自動更新が有効かつ入力内容が空でない場合は台帳側が更新されま
す。

イ. 出荷先コードなしの場合

入力内容がそのまま伝票に登録されます。

<桁数欄の凡例>

「全」 … 全角文字が指定可能な項目です。この印のない項目では半角文字のみ
許可されています。

なお、文字数は全角・半角に関係無くどちらも 1 字として数えます。

[5] インポートデータ作成上の注意事項

- ・伝票データでは同じ「伝票番号」で連続している行が一つの伝票と見なされます。
一つの伝票のヘッダ項目は、全ての行で同じ内容を指定して下さい。
もし伝票番号以外のヘッダ項目に相違があった場合は、最後にある行の内容が優先されます。
- ・実際の伝票番号はシステムによって自動的に割り当てられますが、インポートデータで指定された「伝票番号」は「元伝票番号」として保存されます。(最大 100 桁、全角可)
- ・「必須」項目に○があるものは、インポートデータ作成時、省略できない項目です。
最終「必須」項目より後ろの項目は、省略することが可能です。省略した項目は空で上書きされます。

[6] インポート時の上書きとエラーについて

インポート時に既に台帳上に登録済のデータがある場合はインポートデータで上書きされます。

また、エラーが発生した場合は、以下のように動作します。

- ・ 台帳のインポートでフォーマットエラーが発生した場合は、ファイルの全データを取り込みません。
- ・ 台帳のインポート途中でエラーが発生した場合は、それまでのインポートデータで上書きされます。
- ・ 台帳以外のインポートでエラーが発生した場合は、常にファイルの全データを取り込みません。

[7] 台帳間の依存関係について

以下の項目は該当の台帳にあらかじめ登録されている必要があります。

登録されていない場合は未登録エラーとなります。

以下に台帳間の依存関係を示します。大きい方（左）から順番に設定して下さい。

倉庫台帳 > ゾーン台帳（倉庫） > ロケーション台帳（倉庫・ゾーン）

倉庫台帳 > ユーザー台帳（所属倉庫）

品目分類台帳 > 品目台帳（品目分類）

出荷先台帳 > 直送先台帳（出荷先）

※（）内は上位台帳と依存する項目

[8] インポート時に無視される行について

インポート時、以下の条件に該当する行は無視されます。

- ・ ファイルダイアログ画面にて「2 行目から」を指定した場合、1 行目を無視。

※1 行目が項目行であるファイルをインポートする場合、「2 行目から」を選択してください。



- ・ 空の行

[9] コード項目の末尾のスペースについて

以下の項目について、末尾にスペースがある場合はインポート時に削除して登録を行います。(先頭や途中のスペースは削除しません)

<ヘッダ項目>

仕入先コード、出荷先コード、直送先コード、入荷元倉庫コード、出荷先倉庫コード

<明細項目>

Key コード、品目コード、ロケーションコード、在庫状態コード、理由コード

[10] 在庫状態について

在庫状態のコードと名称は以下の通りです。

状態 4～9 については、システム設定で有効にした場合のみ使用可能です。

詳細は、本体マニュアルの「7-1 [2]システム運用」をご覧ください。

在庫状態コード	在庫状態名
00	通常品
01	不良品
02	修理中
03	確保
04	状態 4
05	状態 5
06	状態 6
07	状態 7
08	状態 8
09	状態 9

※伝票データ 及び 棚卸データにインポートで在庫状態コードを 1 桁で指定した場合は、左 0 埋めで 2 桁にしてインポートを行います。

[1 1] ダブルクォーテーション(“)での囲み方について

<エクスポート時>

以下の場合、文字列はダブルクォーテーションで囲まれます。

- ・ 文字列にカンマ(,)が含まれる。 例 : ABC, DEF → “ABC, DEF”
- ・ 文字列にダブルクォーテーションが含まれる。

この時、文字列内のダブルクォーテーションは二重化エスケープされます。

例 : ABC”DEF → “ABC””DEF”

<インポート時>

エクスポート時と同じルールでダブルクォーテーションで囲んでください。

なお、上記条件に該当しない場合でも文字列をダブルクォーテーションで囲むことは可能です。

[1 2] 項目 ID フォーマットについて

項目 ID 指定インポートでは、必須項目と必要な項目だけを指定してインポートすることができます。
指定しなかった項目は変化しないため、一部の項目だけを更新したい場合に便利です。

また、項目 ID 付エクスポートも可能です。

詳細は「項目 ID ファイルフォーマットマニュアル」をご覧ください。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/manual.htm>

「別紙 項目 ID ファイルフォーマット」

2.伝票データフォーマット

[1] 入荷実績伝票

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 伝票番号(昇順) > 明細番号(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	ヘッダ	伝票番号	12 (インポート時は[全]100)		伝票の区切り。 インポート時は元伝票番号として記録
2		伝票区分	1		1：入荷 2：入荷返品 3：倉庫間入荷（インポート時無効） 省略時は1：入荷
3		伝票日付	10		YYYY/MM/DD 省略時は当日の日付
4		入荷予定日	10		YYYY/MM/DD
5		作業倉庫コード※	6		インポート時は常にログイン倉庫を適用
6		作業倉庫名※	[全]20		
7		仕入先コード	15		
8		仕入先名称 1★	[全]100		
9		仕入先名称 2★	[全]100		
10		仕入先名称カナ★	[全]100		
11		仕入先略称☆	[全]16		
12		仕入先担当者名★	[全]20		
13		仕入先敬称★	[全]10		
14		仕入先郵便番号★	20		
15		仕入先住所 1★	[全]255		
16		仕入先住所 2★	[全]255		
17		仕入先 TEL★	20		
18		仕入先 FAX★	20		
19		（予備）			
20		（予備）			
21		入荷元倉庫コード※	6		
22		入荷元倉庫名※	[全]20		
23		作業番号	[全]35		
24		元伝票番号※	[全]100		インポート時は伝票番号の内容を登録
25		（予備）			
26		（予備）			

27		(予備)			
28		作業担当者 ID	20		数字(0～9)、英字(大文字/小文字 区別なし)、- _ . のみ 省略時はログインユーザー
29		作業担当者名※	[全]30		
30		摘要	[全]500		
31		入力区分	1		1 : PC / 2 : HT 省略時は 1 : PC
32		登録日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
33		(予備)			
34		(予備)			
35		(予備)			
36		伝票更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
37		明細番号※	3		1～999 の範囲
38		(予備)			
39		品目コード☆	50		
40		Key コード	32	○	
41		ロケーション	17		「*」で品目の推奨ロケーションを適用
42		品目名 1	[全]500		省略時は品目台帳から転記
43		品目名 2	[全]500		
44		入数☆	8		
45		箱数	5		0～99999 の範囲。省略時は 0 ※インポート時は箱数に記録されるの みで数量の値には影響しない
46		数量	13	○	0 以上
47		単位	[全]8		省略時は品目台帳から転記
48	明細	ロット 1	[全]40		
49		ロット 2	[全]40		
50		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照 伝票区分「入荷」の場合 システム設定の[システム運用]- [入荷時の在庫状態・明細入力] = ON の時のみ有効 上記設定 OFF または省略時は システム設定[入荷時の在庫状態]に 依存 伝票区分「入荷返品」の場合 常に有効、省略時は 00 : 通常品
51		在庫状態名※	[全]10		
52		理由コード	4		「入荷返品」時のみ有効
53		理由名称☆	[全]20		
54		備考	[全]500		
55		(予備)			

56		(予備)			
57		履歴ログ※	40		
58		(予備)			
59		(予備)			
60		(予備)			
61		明細更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[2] 出荷実績伝票

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 伝票番号(昇順) > 明細番号(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	ヘッダ	伝票番号	12 (インポート時は[全]100)		伝票の区切り。 インポート時は元伝票番号として記録
2		伝票区分	1		1：出荷 2：出荷返品 3：倉庫間出荷 省略時は1：出荷
3		伝票日付	10		YYYY/MM/DD 省略時は当日の日付
4		納期	10		YYYY/MM/DD
5		出荷予定日	10		YYYY/MM/DD
6		作業倉庫コード※	6		インポート時は常にログイン倉庫を適用
7		作業倉庫名※	[全]20		
8		出荷先コード	15		倉庫間出荷時は無効
9		出荷先名称 1★	[全]100		
10		出荷先名称 2★	[全]100		
11		出荷先名称カナ★	[全]100		
12		出荷先略称☆	[全]16		
13		出荷先担当者名★	[全]20		
14		出荷先敬称★	[全]10		
15		出荷先郵便番号★	20		
16		出荷先住所 1★	[全]255		
17		出荷先住所 2★	[全]255		
18		出荷先 TEL★	20		
19		出荷先 FAX★	20		
20		(予備)			
21		(予備)			

22	直送先コード	15		
23	直送先名称 1★	[全]100		
24	直送先名称 2★	[全]100		
25	直送先名称カナ★	[全]100		
26	直送先略称☆	[全]16		
27	直送先担当者名★	[全]20		
28	直送先敬称★	[全]10		
29	直送先郵便番号★	20		
30	直送先住所 1★	[全]255		
31	直送先住所 2★	[全]255		
32	直送先 TEL★	20		
33	直送先 FAX★	20		
34	(予備)			
35	(予備)			
36	直送先の対応出荷先コード☆	15		倉庫間出荷時は無効
37	出荷先倉庫コード	6	△	「倉庫間出荷」時のみ必須
38	出荷先倉庫名☆	[全]20		
39	作業番号	[全]35		
40	元伝票番号※	[全]100		インポート時は伝票番号の内容を登録
41	(予備)			
42	(予備)			
43	(予備)			
44	作業担当者 ID	20		数字(0～9)、英字(大文字/小文字区別なし)、- _ . のみ 省略時はログインユーザー
45	作業担当者名※	[全]30		
46	摘要	[全]500		
47	入力区分	1		1 : PC / 2 : HT 省略時は 1 : PC
48	登録日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
49	(予備)			
50	(予備)			
51	(予備)			
52	(予備)			
53	(予備)			
54	(予備)			
55	(予備)			
56	(予備)			

57		(予備)			
58		伝票更新日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
59		明細番号※	3		1～999 の範囲
60		(予備)			
61		品目コード☆	50		
62		Key コード	32	○	
63		ロケーション	17		「*」で品目の推奨ロケーションを適用
64		品目名 1	[全]500		省略時は品目台帳から転記
65		品目名 2	[全]500		
66		入数☆	8		
67		箱数	5		0～99999 の範囲 省略時は 0 ※インポート時は箱数に記録される のみで数量の値には影響しない
68		数量	13	○	0 以上
69		単位	[全]8		省略時は品目台帳から転記
70		ロット 1	[全]40		
71		ロット 2	[全]40		
72	明細	在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照 伝票区分「出荷」の場合 システム設定の[システム運用]- [出荷時の在庫状態・明細入力] = ON の時のみ有効 上記設定 OFF または省略時は 00：通常品 伝票区分「出荷返品」「倉庫間出 荷」の場合常に有効、省略時は 00：通常品
73		在庫状態名※	[全]10		
74		理由コード	4		「出荷返品」時のみ有効
75		理由名称☆	[全]20		
76		備考	[全]500		
77		(予備)			
78		(予備)			
79		履歴ログ※	[全]40		
80		(予備)			
81		(予備)			
82		(予備)			
83		(予備)			
84		(予備)			

85		(予備)			
86		(予備)			
87		明細更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[3] 振替伝票

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 伝票番号(昇順) > 明細番号(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	ヘッダ	伝票番号	12 (インポート時は[全]100)		伝票の区切り。 インポート時は元伝票番号として記録
2		伝票区分	1		1：移動 2：在庫状態変更 3：ロット1変更 4：破棄 5：ロット2変更 6：汎用変更 9：在庫調整 省略時は9：在庫調整
3		伝票日付	10		YYYY/MM/DD 省略時は当日の日付
4		作業倉庫コード※	6		インポート時は常にログイン倉庫を適用
5		作業倉庫名※	[全]20		
6		作業担当者 ID	20		数字(0～9)、英字(大文字/小文字区別なし)、- _ . のみ 省略時はログインユーザー
7		作業担当者名※	[全]30		
8		作業番号	[全]35		
9		元伝票番号※	[全]100		インポート時は伝票番号の内容を登録
10		摘要	[全]500		
11		入力区分	1		1：PC／2：HT 省略時は1：PC
12		登録日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
13		伝票更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
14	明細	明細番号※	3		1～999 の範囲
15		(予備)			
16		品目コード☆	50		
17		Key コード	32	○	

18	品目名 1	[全]500		省略時は品目台帳から転記		
19	品目名 2	[全]500				
20	ロット 1	[全]40				
21	変更後ロット 1	[全]40		伝票区分「ロット 1 変更」時のみ有効		
22	ロット 2	[全]40				
23	変更後ロット 2	[全]40		伝票区分「ロット 2 変更」時のみ有効		
24	ロケーション	17			「*」で品目の推奨 ロケーションを適用	
25	送り先ロケーション	17		伝票区分「移動」時のみ有効		
26	在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照 省略時は 00 : 通常品		
27	在庫状態名※	[全]10				
28	変更後在庫状態コード	2		伝票区分「在庫状態変更」時のみ有効 省略時は 00 : 通常品		
29	変更後在庫状態名※	[全]10				
30	入数☆	8				
31	箱数	5		0～99999 の範囲 省略時 0 ※インポート時は箱数に記録される のみで数量の値には影響しない		
32	数量	13	○	0 以上 伝票区分「在庫調整」時のみマイナスも指定可能		
33	単位	[全]8		省略時は品目台帳から転記		
34	理由コード	4				
35	理由名称☆	[全]20				
36	備考	[全]500				
37	履歴ログ※	[全]40				
38	明細更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS		

3.現品票データフォーマット

インポートは「[2]枚数項目付加形式」のみ対応しています。

[1] 枚数繰り返し形式

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 画面表示と同じ

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	明細	Key コード	32		Key コードが空の行は出力されません
2		品目コード	50		
3		品目名 1	[全]500		
4		品目名 2	[全]500		
5		ロット 1	[全]40		帳票種別 = 品目現品票の時は空
6		ロット 2	[全]40		
7		単位	[全]8		
8		ラベル入数	13		
9		QR コード内容	[全]1169		データ内にカンマ(,)を含むため、前後をダブルクォーテーション(")で括ります。 帳票種別 = 品目現品票の時は空。

[2] 枚数項目付加形式

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 画面表示と同じ

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	Key コード	32	○	Key コードが空の行は出力されません
2		品目コード	50		
3		品目名 1	[全]500		
4		品目名 2	[全]500		
5		ロット 1	[全]40		帳票種別 = 品目現品票の時は空
6		ロット 2	[全]40		
7		単位※	[全]8		
8		ラベル入数	13		
9		QR コード内容※	[全]1180		データ内にカンマ(,)を含むため、前後をダブルクォーテーション(")で括ります。 帳票種別 = 品目現品票の時は空。
10		枚数	10		枚数が 0 の行は出力されません。

4. 棚卸データフォーマット

[1] 棚卸表(品目別)

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	ヘッダ	棚卸番号	12		
2		棚卸日付	10		YYYY/MM/DD
3		倉庫コード	6		
4		倉庫名	[全]20		
5		担当者コード	20		
6		担当者名	[全]30		
7		摘要	[全]500		
8		更新日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
9	明細	Key コード	32		
10		品目コード	50		
11		品目名 1	[全]500		
12		品目名 2	[全]500		
13		論理現品数	13		
14		合計棚卸数	13		
15		差異数	13		
16		単位	[全]8		

[2] 棚卸表(詳細)

インポートは、現在実行中の棚卸に対する実績として PC 棚卸数に加算されます。

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Key コード(昇順)
> 在庫状態(昇順) > ロット 1 (昇順) > ロット 2 (昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	ヘッダ	棚卸番号※	12		
2		棚卸日付※	10		YYYY/MM/DD
3		倉庫コード※	6		
4		倉庫名※	[全]20		
5		担当者コード※	20		
6		担当者名※	[全]30		
7		摘要※	[全]500		

8		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
9		明細番号※	6		
10		Key コード	32	○	
11		品目コード※	50		
12		品目名 1※	[全]500		
13		品目名 2※	[全]500		
14		ロット 1	[全]40		
15		ロット 2	[全]40		
16		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照 省略時は 00 : 通常品
17		在庫状態名※	[全]10		
18		ロケーション	17		
19	明細	論理現品数※	12		
20		PC 棚卸数	13	○	インポート時は現在の値に加算。マイナスも指定可。
21		モバイル棚卸数※	13		
22		合計棚卸数※	13		
23		差異数※	13		
24		単位※	[全]8		
25		差異※	5		True : 差異あり False : 差異なし
26		備考	[全]500		
27		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[3] モバイル棚卸入力履歴

エクスポートのみ

ソート順 : 明細番号(昇順) > 登録日時(昇順)

	種別	項目名	桁数	—	備考
1		棚卸番号	12		
2		明細番号	6		
3		登録日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
4		作業担当者コード	20		
5		作業担当者名	[全]30		
6		Key コード	32		
7	明細	品目コード	50		
8		品目名 1	[全]500		
9		品目名 2	[全]500		
10		ロット 1	[全]40		
11		ロット 2	[全]40		

12		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」 参照
13		在庫状態名※	[全]10		
14		ロケーション	17		
15		モバイル入力数※	13		
16		単位	[全]8		
17		上書	2		「上書」：上書き 空： 加算
18		削除済	5		True：削除済み

[4] 棚卸外部データ比較

エクスポートのみ

ソート順： ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Keyコード(昇順)
> 在庫状態(昇順) > ロット1(昇順) > ロット2(昇順)

	種別	項目名	桁数	－	備考	
1	明細	Key コード	32			
2		品目コード	50		システム設定の「システム運用」-「使用項目」-「品目コード」が OFF の場合は、エクスポートの対象外となります。	
3		品目名 1	[全]500			
4		品目名 2	[全]500		システム設定の「システム運用」-「使用項目」-「品目名 2」が OFF の場合は、エクスポートの対象外となります。	
5		ロット 1	[全]40			集計項目に指定されていない場合は、エクスポートの対象外となります。
6		ロット 2	[全]40			
7		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照	
8		在庫状態名	[全]10			
9		ロケーション	17			
10		外部データ在庫数	13			
11		棚卸数	13			
12		差異数	13			
13		単位	[全]8			

5.在庫参照データフォーマット

[1] 在庫参照(品目別)

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 倉庫コード(昇順) > Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	明細	倉庫コード	6		
2		倉庫名	[全]20		
3		Key コード	32		
4		品目コード	50		
5		品目名 1	[全]30		
6		品目名 2	[全]30		
7		分類コード	4		
8		分類名	[全]30		
9		現品数	13		
10		(予備)			
11		(予備)	1		
12		出荷不能数	13		
13		出荷可能数	13		現品数－出荷不能数
14		(予備)	13		
15		(予備)	13		
16		発注点	13		
17		単位	[全]8		
18		更新日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS 現品数が 0 の場合は 「1900/01/01 00:00:00」

[2] 在庫参照(詳細)

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 倉庫コード(昇順) > Key コード(昇順) > 在庫状態(昇順)

> ロット1(昇順) > ロット2(昇順) > ゾーンコード(昇順) > ロケーション(昇順)

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	明細	倉庫コード	6		
2		倉庫名	[全]20		
3		Key コード	32		
4		品目コード	50		

5		名称 1	[全]30		
6		名称 2	[全]30		
7		分類コード	4		
8		分類名	[全]30		
9		ロット 1	[全]40		
10		ロット 2	[全]40		
11		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」 参照
12		在庫状態名	[全]10		
13		ゾーンコード	2		
14		ゾーン名	[全]20		
15		ロケーション	17		
16		現品数	13		
17		(予備)			
18		(予備)			
19		単位	[全]8		
20		更新日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS 現品数が 0 の場合は 「1900/01/01 00:00:00」

6.履歴参照データフォーマット

[1] 履歴参照

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順：登録日時(降順) > データ種別(入荷/出荷/振替/棚卸の順)

> 伝票番号(降順) > 明細番号(昇順)

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	明細	登録日時	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
2		伝票日付	10		YYYY/MM/DD
3		倉庫コード	6		
4		倉庫名	[全]20		
5		作業	[全]10		入荷/入荷返品/倉庫間入荷/ 出荷/出荷返品/倉庫間出荷/ 移動/在庫状態変更/破棄/ ロット1変更/ロット2変更/ 汎用変更/在庫調整/ 棚卸/棚卸差異
6		対象	[全]80		入荷/入荷返品：仕入先 出荷/出荷返品：出荷先、直送先 倉庫間入荷/倉庫間出荷：対象倉庫 汎用変更：「振替元」「振替先」のいずれか 棚卸/棚卸差異：棚卸対象 その他：空欄
7		品目コード	50		
8		Keyコード	32		
9		品目名1	[全]500		
10		品目名2	[全]500		
11		数量	13		
12		単位	[全]8		
13		ロット1	[全]40		
14		変更後ロット1	[全]40		ロット1変更時のみ
15		ロット2	[全]40		
16		変更後ロット2	[全]40		ロット2変更時のみ
17		在庫状態コード	2		「1[10] 在庫状態について」参照
18		在庫状態名	[全]10		
19		変更後在庫状態コード	2		在庫状態変更時のみ
20		変更後在庫状態名	[全]10		
21		ロケーション	17		
22		変更後ロケーション	17		移動時のみ
23		作業担当者ID	20		

24		作業担当者	[全]30		
25		理由コード	4		
26		理由	[全]20		
27		摘要	[全]500		
28		備考	[全]500		
29		履歴エラー	[全]40		
30		伝票番号	12		
31		明細番号	3		
32		作業番号	[全]35		
33		元伝票番号	[全]100		

[2] 入出荷一覧

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 倉庫コード > Keyコード > 伝票日付 > 登録日時 > 作業(下表の作業名の並び順)
> 伝票番号 > 明細番号（作業以外全て昇順）

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	ヘッダ	作業倉庫コード	6		
2		作業倉庫名	[全]20		
3		Keyコード	32		
4		品目コード	50		
5		品目名 1	[全]500		
6		品目名 2	[全]500		
7	明細	伝票日付	10		YYYY/MM/DD
8		伝票番号	12		
9		明細番号	3		
10		作業番号	[全]35		
11		元伝票番号	[全]100		
12		作業	[全]10		入荷/入荷返品/倉庫間入荷/ 出荷/出荷返品/倉庫間出荷/ 破棄/汎用変更/在庫調整/ 棚卸差異
13		対象	[全]80		入荷/入荷返品：仕入先 出荷/出荷返品：出荷先、直送先 倉庫間入荷/倉庫間出荷：対象倉庫 汎用変更：「振替元」「振替先」のいずれか 棚卸差異：棚卸対象 その他：空欄
14		入荷数量	13		在庫の増加数
15		出荷数量	13		在庫の減少数

16		在庫数量	13		作業後の在庫数
17		単位	[全]8		
18		備考	[全]500		

[3] 入出荷一覧（詳細）

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 倉庫コード > Keyコード > 伝票日付 > 登録日時 > 作業(下表の作業名の並び順)
> 伝票番号 > 明細番号（作業以外全て昇順）

	種別	項目名	桁数	－	備考
1	ヘッダ	作業倉庫コード	6		
2		作業倉庫名	[全]20		
3		Keyコード	32		
4		品目コード	50		
5		品目名 1	[全]500		
6		品目名 2	[全]500		
7	明細	伝票日付	10		YYYY/MM/DD
8		伝票番号	12		
9		明細番号	3		
10		作業番号	[全]35		
11		元伝票番号	[全]100		
12		作業	[全]10		入荷/入荷返品/倉庫間入荷/ 出荷/出荷返品/倉庫間出荷/ 破棄/汎用変更/在庫調整/ 棚卸差異
13		対象	[全]80		入荷/入荷返品：仕入先 出荷/出荷返品：出荷先、直送先 倉庫間入荷/倉庫間出荷：対象倉庫 汎用変更：「振替元」「振替先」のいずれか 棚卸差異：棚卸対象 その他：空欄
14		入荷数量	13		在庫の増加数
15		出荷数量	13		在庫の減少数
16		在庫数量	13		作業後の在庫数
17		単位	[全]8		
18		ロット 1	[全]40		
19		ロット 2	[全]40		
20		在庫状態コード	2		「1[1 0] 在庫状態について」参照
21		在庫状態名	[全]10		
22		ロケーション	17		
23		備考	[全]500		

7.集計データフォーマット

[1] 在庫移動表

エクスポートのみ

ソート順： Key コード(昇順)

データの 1 行目には、対応するフィールドの項目名が出力されます。数量のフィールドには項目名の代わりに日付（月別：YYYY/MM 形式、日別：YYYY/MM/DD 形式）が出力されます。

	種別	項目名	桁数	備考
1	ヘッダ	Key コード	32	
2		品目コード	50	
3		品目名 1	[全]500	
4		品目名 2	[全]500	
5		分類	[全]35	「分類コード：分類名」の形式
6	明細 (*)	種類	[全]1	入／出／在
7 以降 (*)		数量	13	種類が「入」の場合、増加数 種類が「出」の場合、減少数 種類が「在」の場合、在庫数

* …7 フィールド目以降のフィールド数は、データ表示時の条件（月別/日別、対象期間）により決まります。

[2] 在庫高集計

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 画面表示と同じ（デフォルトは Key コード昇順）

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	Key コード	32	
2		品目コード	50	
3		品目名 1	[全]500	
4		品目名 2	[全]500	
5		分類コード	4	
6		分類名	[全]30	
7		標準原単価	18	
8		現品数	13	
9		金額	18	

8.分析データフォーマット

[1] 出荷高(単価)別 ABC 分析

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 出荷高(降順) > Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	順位	6	
2		Key コード	32	
3		品目コード	50	
4		品目名 1	[全]500	
5		品目名 2	[全]500	
6		分類コード	4	
7		分類名	[全]30	
8		推奨ロケーション	17	
9		単価	18	
10		合計出荷数量	13	
11		単位	[全]8	
12		出荷高	18	
13		構成比	7	
14		累計構成比	7	
15		区分	1	A/B/C

[2] 出荷高(標準原単価)別 ABC 分析

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 出荷高(降順) > Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	順位	6	
2		Key コード	32	
3		品目コード	50	
4		品目名 1	[全]500	
5		品目名 2	[全]500	
6		分類コード	4	
7		分類名	[全]30	
8		推奨ロケーション	17	
9		標準原単価	18	
10		合計出荷数量	13	

11		単位	[全]8	
12		出荷高	18	
13		構成比	7	
14		累計構成比	7	
15		区分	1	A/B/C

[3] 出荷頻度別 ABC 分析

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 出荷回数(降順) > Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	順位	6	
2		Key コード	32	
3		品目コード	50	
4		品目名 1	[全]500	
5		品目名 2	[全]500	
6		分類コード	4	
7		分類名	[全]30	
8		推奨ロケーション	17	
9		合計出荷数量	13	
10		単位	[全]8	
11		出荷回数	11	
12		構成比	7	
13		累計構成比	7	
14		区分	1	A/B/C

[4] 在庫高別 ABC 分析

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 在庫高(降順) > Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	順位	6	
2		Key コード	32	
3		品目コード	50	
4		品目名 1	[全]500	
5		品目名 2	[全]500	
6		分類コード	4	
7		分類名	[全]30	

8		推奨ロケーション	17	
9		標準原単価	18	
10		現品数	13	
11		単位	[全]8	
12		在庫高	18	
13		構成比	7	
14		累計構成比	7	
15		区分	1	A/B/C

[5] 滞留在庫

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 画面表示と同じ（デフォルトは 倉庫コード(昇順) > 最終出荷日(昇順)
> 最終入荷日(昇順) > Keyコード(昇順))

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	倉庫コード	6	
2		倉庫名	[全]20	
3		Keyコード	32	
4		品目コード	50	
5		品目名 1	[全]500	
6		品目名 2	[全]500	
7		分類コード	4	
8		分類名	[全]30	
9		現品数	13	
10		単位	[全]8	
11		最終入荷日	10	YYYY/MM/DD 形式
12		最終出荷日	10	YYYY/MM/DD 形式

[6] 在庫回転率

エクスポートのみ（項目行あり・項目行なし）

ソート順： 回転率(降順) > Keyコード(昇順)

	種別	項目名	桁数	備考
1	明細	順位	6	
2		Keyコード	32	
3		品目コード	50	
4		品目名 1	[全]500	
5		品目名 2	[全]500	

6		分類コード	4	
7		分類名	[全]30	
8		回転率	13	
9		回転期間	13	
10		平均在庫数	13	
11		出荷数	13	
12		単位	[全]8	

9.台帳データフォーマット

[1] 品目台帳

インポート時、推奨ロケーションおよび発注点は、ログイン倉庫のデータとして設定されます。

ログイン倉庫なしでインポートした場合は、それらを指定していても無視されます。

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	Key コード	32	○	
2		品目コード	50		
3		品目名 1	[全]500		
4		品目名 2	[全]500		
5		名称カナ	[全]60		
6		略称	[全]60		
7		分類コード	4		
8		推奨ロケーション	17		* 指定時：既存データは更新しません 新規データは推奨ロケーションなし
9		単位	[全]8		
10		単価	18		0 または省略時：単価なし(*1)
11		標準原単価	18		0 または省略時：標準原単価なし(*1)
12		発注点	13		0 または省略時：発注点なし(*1) * 指定時：既存データは更新しません 新規データは発注点なし
13		入数	8		0 または省略時：入数なし(*1) 小数なしの場合：0～999999 の範囲 小数ありの場合：0～9999.999 の範囲
14		画像 1 URL	[全]1000		(*2)
15		画像 1 リンク URL	[全]1000		
16		画像 2 URL	[全]1000		(*2)
17		画像 2 リンク URL	[全]1000		
18		画像 3 URL	[全]1000		(*2)
19		画像 3 リンク URL	[全]1000		
20		サムネイル URL	[全]1000		(*2)
21		予備項目 1	[全]1000		
22		予備項目 2	[全]1000		
23		予備項目 3	[全]1000		
24		予備項目 4	[全]1000		
25		予備項目 5	[全]1000		
26		予備項目 6	[全]1000		

27	予備項目 7	[全]1000		
28	予備項目 8	[全]1000		
29	予備項目 9	[全]1000		
30	予備項目 1 0	[全]1000		
31	JAN/UPC コード 1	20		
32	JAN/UPC コード 1 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
33	JAN/UPC コード 2	20		
34	JAN/UPC コード 2 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
35	JAN/UPC コード 3	20		
36	JAN/UPC コード 3 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
37	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 1	20		
38	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 1 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
39	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 2	20		
40	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 2 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
41	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 3	20		
42	ITF/GS1(GTIN- 14)コード 3 入数	8		0 または省略時：入数なし(*1)
43	注意メッセージ（共 通）	[全]1000		
44	注意メッセージ（入 荷）	[全]1000		
45	注意メッセージ（出 荷）	[全]1000		
46	注意メッセージ（注 意あり現品票）	[全]1000		
47	ロット 1 入力	2		0：任意
48	ロット 2 入力	2		1：必須
49	トレース情報入力	2		-1：なし
50	更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

*1. 品目台帳画面で未指定の場合、エクスポート時は 0 を出力します。

*2. 「画像ストレージオプション」を契約されている場合、以下のようになります。

・エクスポート時の動作

リンク画像 URL が設定されている場合、画像 URL を出力します。

ストレージ画像が設定されている場合、画像情報（ファイルサイズとピクセル数）を出力します。

例) "0.20 MByte 600x600 pixel"

・インポート時の動作

リンク画像 URL のインポートは可能です。

URL とみなされない場合は、無視されることがあります。

[2] 分類台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 分類コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	品目分類コード	4	○	
2		名称	[全]30		
3		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[3] セット品台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： Key コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	ヘッダ (セット 商品)	Key コード	32	○	
2		品目コード※	50		
3		品目名 1※	[全]500		
4		品目名 2※	[全]500		
5		分類コード※	4		
6		分類名※	[全]30		
7		単位※	[全]8		
8	明細 (構成品)	Key コード	32	○	
9		品目コード※	50		
10		品目名 1※	[全]500		
11		品目名 2※	[全]500		
12		分類コード※	4		
13		分類名※	[全]30		
14		構成数	13	○	0.001 以上
15		単位※	[全]8		
16		明細更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[4] 倉庫台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 倉庫コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	倉庫コード	6	○	
2		名称	[全]20		
3		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[5] ゾーン台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 倉庫コード(昇順) > ゾーンコード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	ゾーンコード	2	○	
2		名称	[全]20		
3		倉庫コード	6	○	
4		(予備)			0 固定
5		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[6] ロケーション台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 倉庫コード(昇順) > ロケーション(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	ロケーション	17	○	
2		ゾーンコード	2		
3		倉庫コード	6	○	
4		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[7] 出荷先台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 出荷先コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	出荷先コード	15	○	
2		名称 1	[全]30		

3		名称 2	[全]30		
4		名称カナ	[全]60		
5		略称	[全]16		
6		担当者名	[全]20		
7		敬称	[全]10		
8		郵便番号	10		
9		住所 1	[全]40		
10		住所 2	[全]40		
11		TEL	14		
12		FAX	14		
13		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[8] 直送先台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 直送先コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	直送先コード	15	○	
2		名称 1	[全]30		
3		名称 2	[全]30		
4		名称カナ	[全]60		
5		略称	[全]16		
6		担当者名	[全]20		
7		敬称	[全]10		
8		郵便番号	10		
9		住所 1	[全]40		
10		住所 2	[全]40		
11		TEL	14		
12		FAX	14		
13		対応出荷先コード	15		
14		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[9] 仕入先台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順： 仕入先コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	仕入先コード	15	○	

2		名称 1	[全]30		
3		名称 2	[全]30		
4		名称カナ	[全]60		
5		略称	[全]16		
6		担当者名	[全]20		
7		敬称	[全]10		
8		郵便番号	10		
9		住所 1	[全]40		
10		住所 2	[全]40		
11		TEL	14		
12		FAX	14		
13		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[10] 理由台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順：理由コード(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	理由コード	4	○	
2		詳細	[全]20		
3		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS

[11] ユーザー台帳

インポート／エクスポート（項目行あり・項目行なし）

エクスポート時ソート順：所属倉庫(全倉庫/複数倉庫/単一倉庫の倉庫コード) > ユーザーID(昇順)

	種別	項目名	桁数	必須	備考
1	明細	ユーザーID	20	○	数字(0～9)、英字(大文字/小文字 区別なし)、- _ . のみ
2		パスワード	20		エクスポート時は一律 * を出力 インポート時 * を指定した場合 既存データは更新しません 新規データはエラー
3		氏名	[全]30		
4		氏名カナ	[全]30		
5		倉庫コード	0 以上		省略時は全倉庫所属 複数倉庫所属の場合、倉庫コードを スラッシュ(/)で連結

6		メモリ HT 用 ID	5		メモリ HT オプション利用時のみ 利用しない場合は予備
7		権限	1	○	1：現場作業者 2：物流担当者 3：参照のみ 4：システム管理者 7：API 専用 -1:仕入先担当者
8		全倉庫参照可否	1		0：不可／1：可 省略時は 1：可
9		(予備)			
10		有効期限	10		YYYY/MM/DD 省略時は無期限
11		ログイン中※	1		0：ログインしていない 1：ログインしている
12		更新日時※	19		YYYY/MM/DD HH:MM:SS
13		仕入先コード	15	△	仕入先担当者のみ必須
14		同一仕入先担当者の メンテナンス可	1		0：不可／1：可 省略時は 0：不可
15		メールアドレス	256		
16		電話番号	20		
17		2 要素認証※	[全]2		有効／無効
18		メイン倉庫コード	6		省略時はメイン倉庫指定なし

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル
Tel 045-472-0938

在庫スイートクラウド Lite ファイルフォーマットマニュアル
2026 年 07 月 09 日 第 4.4 版
